

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2021年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場の使用について

- (1) 競技に参加する選手のみ入場できることとする。応援者は入場できないこととする。
- (2) 選手・役員・引率責任者（保護者）以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (3) コロナウイルス感染防止のため応援は行わないこととする。
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行き、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (7) 選手はメインスタンドを利用し、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- (8) 引率責任者・同伴者はバックスタンドのみ待機可。メインスタンドは利用不可とする。
- (9) 引率責任者及び同伴者の入場は参加選手の保護者及びその同伴者であること。
- (10) 貴重品等の盗難防止に努めることとする。
- (11) 選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努めること。
競技終了後は引率責任者と共にできるだけ早く帰宅をすること。
- (12) 各席、2席以上空けて待機すること。
- (13) リストバンド提示者のみ再入場できることとする。（選手・引率責任者）
- (14) 悪質な写真（ビデオ）の盗撮を未然に防ぎ、生徒や選手をこれらからの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。
①大会運営本部より許可した報道関係者
②大会出場選手の引率責任者
※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。
なお、競技場内で中学生による携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。
- (15) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。

3. 競技者の招集について

〈招集の手順〉

- ・招集開始時刻から招集完了時刻までに競技服装になっておくこと。
 - ・その際にアスリートビブス（胸・背・腰）及びスパイクシューズの点検を受ける。
 - ・招集を受けなかった選手は失格となる。
 - ・アスリートビブスは招集までにつけておくこと
- (1) アスリートビブス（腰）は**各校**で用意すること。
ただし、一般参加者と800m以上の種目は雨天練習場で受け取ること。
リレーにおいては4走のみアスリートビブス（腰）を着用する。
 - (2) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。
なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
 - (3) トラック競技出場者は、アスリートビブス（腰）をランニングパンツ右側上部やや後方につける。
 - (4) 招集場所は現地とする。※2種目に重なって出場している選手は、審判員に申し出ること。
 - (5) 点呼を受けない者は棄権とみなす。
 - (6) **WA規則第143条（TR5：シューズ）を適応するため必ず招集までに準備しておくこと。**
 - (7) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド競技	競技開始30分前	競技開始20分前

- (8) リレーについて（オーダー用紙）
 - ・**今大会に限り、ユニフォームが揃ってなくても出場を認める。**
 - ・オーダー用紙についてはHPよりダウンロードし、各校で準備すること。
 - ・競技開始2時間前までに本部記録係へ顧問が提出すること。

4. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔競技規則第162条5(c)〕
- (3) スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。
- (4) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (5) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (6) フィールド競技のマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔競技規則第180条3(a)〕
- (7) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔競技規則第180条3(b)〕
- (8) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。

5. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。(すべてダグアウトを利用すること。)
- (2) 走り終わった者はバックストレート側のみ利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技終了後、準備されている消毒液で手指を消毒すること。

6. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

7. 記録について

- (1) 記録について今大会は3密を防ぐために貼りだしは行わない。すべての記録に関してはアスリートランキングHPにて確認をすること。
- (2) 電光掲示板による記録の速報は行わない。
<http://www.athleteranking.com/>

8. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技				
走高跳	男子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m60 1m63… 以上3cmずつ
	女子	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m40 1m43… 以上3cmずつ

※ 当日、練習・競技開始の高さに変更する場合がある。

9. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは個別で行うこと。
- (2) 競技場入退場時間内に行うこと。
- (3) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (4) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (5) 競技場周辺を含め園での練習(駅伝試走も含む)は禁止する。
- (6) 練習ハードルについて
補助競技場に設置しているものを使用すること。各校のハードルの持ち込みは禁止する。
- (7) 投擲練習について
投擲競技の練習は全面禁止とする。

10. 応援について

- (1) 今大会は新型コロナウイルスの感染防止を考慮し応援は行わないこと。

11. 待機場所について

- (1) 選手はメインスタンド、引率責任者（保護者）に関してはバックスタンドを利用すること。
2席以上空け、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- (2) 引率責任者（保護者）に関しては入場時に**引率責任者チェックシート**を提出すること。
- (3) 各校指定の場所をとることは禁止とし、各自待機場所を確保すること。
その際、貴重品等の盗難防止に努めることとする。選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努める。
- (4) 各席、2席以上空けて待機すること。

12. メイン競技場入場について（選手・引率責任者及び同伴者）

- (1) 競技に参加する選手のみ入場できることとする。応援生徒は入場できないこととする。
- (2) 引率責任者及び同伴者の入場は参加選手の保護者及びその同伴者であること。
- (3) チェックシートを持参していない者は入場できないこととする。

13. チェックシートについて

- (1) 競技場に入場する際必ず提出すること。
(競技役員) 1Fエントランスの受付にて係に提出すること。
(選手) Cゲート入場時、係に提出すること。
(引率責任者) Aゲート入場時、係に提出すること。

※引率責任者は選手1名に対して1人とする。同伴者（小学生以下）はその限りではない。

※「引率責任者チェックシート」は各校顧問より配布してもらうこと。

※「引率責任者チェックシート」は選手1名に対して1枚とする。

よって、多種目出場する場合でも選手1人に対して1枚とする。

※同伴者（小学生以下）は連名で記載すること。

< 注意 > ・当日忘れ、紛失など持参していない場合は入場できません。
・応援の方は入場できません。

14. 競技場再入場について

- ・引率責任者の再入場については原則認めない。ただし、1日で多種目、複数生徒の引率等で再入場をしなければならない引率責任者にはリストバンドを配布する。（Aゲート出口側受付）

15. リストバンドについて

- ・配布場所

< 選手 > Cゲート：入場時にチェックシート提出後、係より受取り、手首に着用すること。

< 競技役員 > 受付時1Fエントランス

< 引率責任者 > **再入場者のみに限る**

Aゲート：退場時に申請できる。入場時は受け付けないこととする。

< 注意 >

・手首につけること。外れているものは無効とする場合がある。

・同伴者（小学生以下）には配布しない。入場時に引率責任者と共に入場すること。

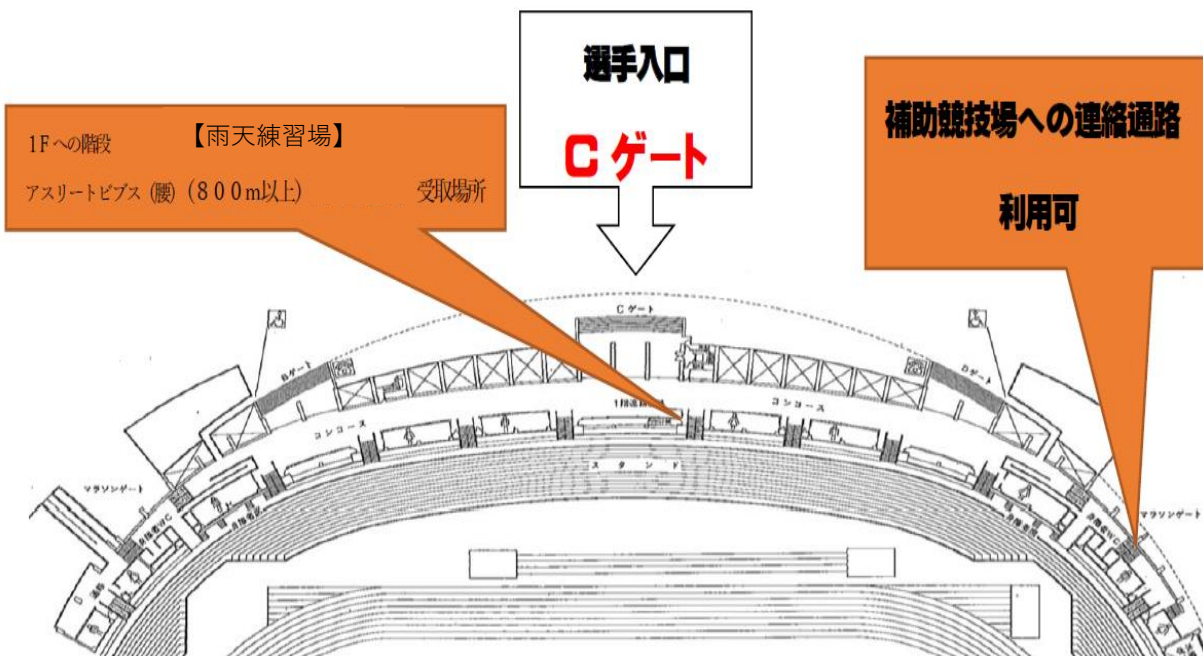
16. 新型コロナウイルス感染防止によるお願いとご協力

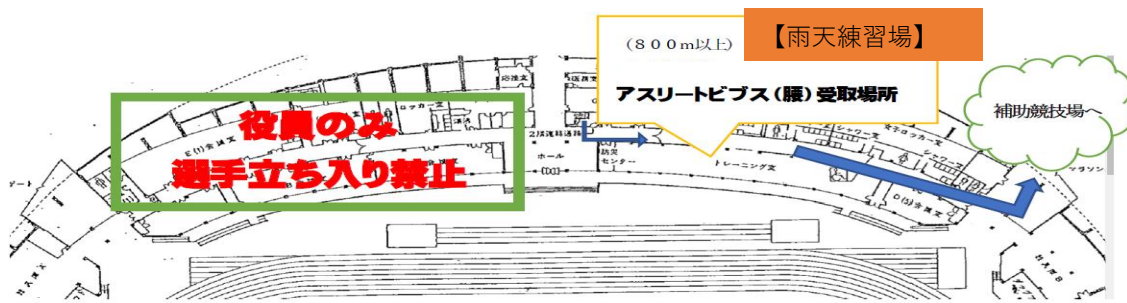
- (1) 「ユニバー記念競技場（補助競技場）をご利用される方へ」を必ず一読し、守ること。
- (2) 社会体育施設の再開時の感染防止策チェックリスト（利用者向け）のチェックを確認し参加すること。
- (3) 体調が急変した場合は競技には参加できないものとする。
- (4) 競技に関する以外の時はマスクを着用すること。その際、熱中症対策を踏まえマスク非着用時は人との間は2m以上離れること。

17. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (2) 大会規定・申し合わせ事項等については、競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるよう協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6:00の段階で神戸市に気象警報（波浪以外）が発令されている場合は中止とする。
- (4) 貴重品は各自で責任を持ち、忘れ物のないように注意すること。
- (5) ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (6) A B C会議室前通路は役員のみ使用。その他は通過・入場を認めない。
- (7) 各校ミーティングは行わないこととする。
- (8) 公園指定の駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関のご利用にご協力ください。
- (9) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (10) 競技場・補助競技場及びスタンド等、施設内では大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (11) 施設の備品を持ち帰ることがないようにすること。
- (12) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (13) 新型コロナウイルス感染防止のためマーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合があります。
- (14) 選手変更・種目変更はいかなる場合も認めない。
※コロナウイルス感染防止対策によりチェックシートを活用等のため。
- (15) メイン・補助競技場共にコロナ感染防止のため更衣室のシャワー利用はできないこととする。

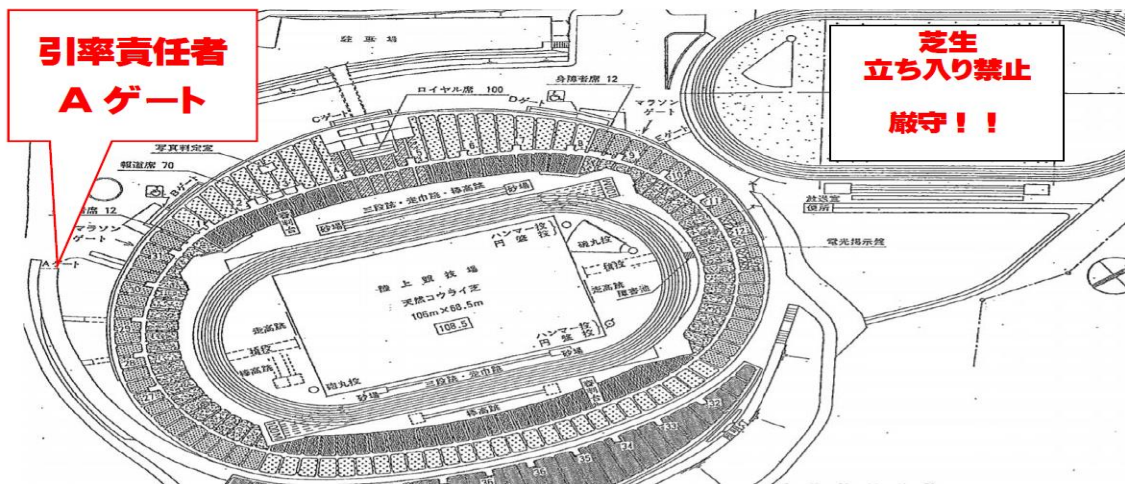
18. 競技場利用方法





<試合出場の手順>

- (1) 選手が入場・退場できるのはCゲートのみとする。
- (2) 現地で競技者係にユニフォーム、アスリートビブス(胸・背・腰)、スパイクのチェックを受ける。
- (3) 競技開始 - ゴール - 消毒 - 競技場退場 - 引率者と帰宅
※必ず引率者と待ち合わせ場所を決めておくこと。(例) 勝利の像、Aゲート前、Bゲート前 など



19. 選手・引率責任者待機場所

